

# みずほ、業種横断で営業

## 組織再編 業態超えたM&A対応

一層強まるとみて、17年ぶりに法人営業の体制を見直す。

新設する5つのグループ

のトップに常務クラスを配置し、25人程度の戦略スタッフもそれぞれのグループに置く。業種を

超えたM&Aや資金調達

の計画を立案し、企業に提案できるようにする。

みずほ証券も同様の組織改正を実施し、銀行と証券の一体化を深める。

融資や社債発行を的確に勧められるようにするた

め、みずほ銀行とみずほ証券の兼職を増やす。現在の約150人を400人程度にする方針。人事制度も改めて社員が銀行融合が進んできた。みずほ銀行はこうした流れが

みずほ銀行は2021年4月に法人営業部を再編する。自動車や電機など業種ごとに担当が分かれていた現在の組織を廃止し、業種横断の5つのグループに組み替える。

銀行でも旧来型の組織を見直す動きが広がる。も法人営業には首都圏だけで25の部署があり、担当者が約500人いる。来年4月の組織再編で、現在の営業部をなくし、5つのインタストリーグに再編する。「情報通信・リテール」が担当

する。こうした部以外に、自動車・テクノロジーといった形で、それぞれのグループが複数の業種をまたいで担当する。グループの下に複数の部署を置いて各企業の担当者を配置する。

「第9部」、電機は「第10部」と「第11部」が担当

「第9部」、電機は「第10部」と「第11部」が担当

「第9部」、電機は「第10部」と「第11部」が担当